

# 星屑

2010年11月号

No. 428



103P ハートレー彗星 2010.10.01  
22:50~23:28 1分露出33枚を合成  
12cm屈折望遠鏡+レデューサー

ハートレー第2彗星(103P)

熊本県民天文台

# 9/22(水) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 中秋の名月を 見よう 写そう！

予報は雷雨（?）なのに、熊本朝日放送（KAB）は「取材したい！」というし・・・



上：雲間に見え隠れする月を待つ参加者  
左：雨の予報でも次々に参加者が集まる

## 天気予報は「雨」でも、20名以上が参加

熊本県文化企画課が主催して、野外での自然体験を行っているフィールドミュージアム事業。熊本県民天文台では、文化企画課に協力して、毎年3回から4回の天体観察会を実施しています。

今年度の第3回目は、大勢の市民が注目する「中秋の名月」がテーマでした。日頃は肉眼で眺めているだけ（?）の名月を、望遠鏡で観察していただこうというやうなもの。それだけではなく、持参したデジカメやカメラ付き携帯電話で撮影してもらい、その画像をお土産として持ち帰ってもらおうという、なんとも大胆な企画だったのです。



## 最低でも家族に一枚

何が「大胆」だったかというと、月面写真を撮影しようという目的に対して、予想される参加者の数が半端ではなかったことです。

いつもの一般公開でも、県民天文台では、デジカメを使った天体撮影に熱心に取り組んできました。しかし、それは比較的来台者の少ない公開時に重点的に実施され、来台者が観測室一杯になるような場合には、できるだけ撮影を控えてもらうよう慎重に運営して来たのです。

ところが、今回は、「中秋の名月を撮影しよう」と呼びかけて、100名を超える参加者を募ろうと考えたわけですか



らね。傍目には「本当に実施できるの?」という声が上がり、「無謀」とも思えるほど大胆だったわけです。当然、計画を進めるうちに、いくつかの課題が浮かび上がってきました。

### 実施に当たっての課題

1. 大勢の参加者に、限られた時間の中でうまく撮影してもらえるか
2. 初めて参加する人にも撮影のコツを伝授できるか
3. 41cm反射望遠鏡だけでの対応は困難、12cm屈折も活用してはどうか  
（注）反射望遠鏡では、斜鏡の影が写り込みやすく、撮影に時間がかかるため
4. 平日なので、3名程度の運営委員だけで実施することになる、大丈夫か？
5. 仮に、うまく撮影できた場合、その画像を活用できる方法はないのか？

これら5つの課題を解決するため、トークアバウトで運営委員間の意見交換を行い、次のような対応を考え、準備を進めました。

### 今回、準備した解決策

1. 大勢の人がスムーズに撮影できるよう、当日、事前に撮影テクニックを伝授する
2. 「撮影のコツ」について、要点を整理する
  - ★ 接眼レンズとカメラレンズの光軸をそろえる（身体で覚えられるよう工夫）
  - ★ カメラが傾かないように注意する（同上）
  - ★ カメラを早く動かすと上手くいかない（同上）
  - ★ シャッターを押すとき、ぶれないように注意する（同上）
  - ★ カメラを両手で持つと、うまく撮影できる（同上）
3. 撮影のコツを伝授するため、「空のペットボトル」をサポートグッズとして使う
4. ボトルは参加する家族数に合わせて、十分な数（30本程度）を準備する
5. 撮影のコツや練習法を解説する電子紙芝居を制作する
6. ペットボトルと電子紙芝居を併用して、撮影前に実技練習をしてもらう
7. 玄関前広場に、12cm屈折望遠鏡を設置（屈折の方が撮影が容易、複数の望遠鏡が必須）
8. 撮影した画像を、メール添付で送ってもらおう



左：空のペットボトルで撮影練習



下：こんな風に写れば成功です



左上：両手を使って撮影すると・・・  
位置決めも簡単だし、シャッターを  
切るときにブレなくて、うまくいきます！



右上：解説用の電子紙芝居を製作



を撮影。更にデジカメやカメラ付き携帯で月を撮影している様子だけでなく、撮影に成功した子どもたちにも突撃取材をして、感想を聞いていました。このとき撮影された映像は、翌23日(秋分の日)の夕方、「ニューストレイン」というローカル番組で放映されました。九州各地で中秋の

### 当日は、変なお天気！

「夕方からは雷雨。ところによっては激しく降る。」という恐ろしい天気予報。実際にイベントが実施できるのかとても心配でした。でも、これまで台風や洪水の時以外は中止したことがないのです。幸い、開始時刻の1時間半前頃には雨は降りそうになく、所々に雲の切れ間が見えていました。それで、いつものように玄関前にブルーシートを広げ、準備を始めました。

しかし、準備作業が始まると、北の方から次第に黒雲が近づいて来るではないですか！更に、熊本市の北側では雷がひどく、雨も激しく降りだしたという情報も入ってきました。ムムム!!

困ったぞ！・・・・結局、開始時刻直前に、室内で解説することにしました。

### 結果は、上々！

準備したペットボトルや解説が大活躍！参加者たちは、あっという間に撮影のコツをつかんでくれました。雲間に見え隠れする「中秋の名月」を観察しては喜び、撮影できたと言っては大喜び。何度も望遠鏡の側へ行って、観察したり撮影したりしていました。この様子を見て、取材に来ていたKABのスタッフたちも大喜び！早速、観察風景

名月を楽しんでいる様子が放映されたあと、がらりと雰囲気の違う楽しみ方が登場し、参加者が生き生きと楽しんでいる映像が流れたので、とても印象が強かったです。

### 残った課題は

撮影した画像の活用については、十分な準備が間に合わず、積み残しになってしまいました。というのは、撮影に成功したあと、その画像をカメラから取り出して天文台のパソコン内に転送し、記録しておく方法を準備し忘れていたからです。

イベントが終わる頃になってそのことに気づき、あわてて「あとで、メールに添付して、天文台に送って下さい。ネットで検索すれば、県民天文台のメールアドレスが分かるから・・・」と、口頭で伝えただけですものね。これじゃあ、画像が集まるはずがありません。できれば、撮影に成功した画像を集めて、「初めてでも、こんな画像が撮影できる」というWebページを作りたかったのですが・・・・

## 10/02(土) 御船町、町民グラウンドで 木倉小あけぼのクラブ「星の観察会」

50名余が参加 雨の予報が、ほぼ快晴に! 天の川も見えて大喜びでした!  
熊本県環境センターの環境教育指導者派遣制度を活用していただきました



早く集まった人から順に、金星の観察を楽しんでいただきました



段々参加者が増えてきて・・・・、ちょうど定刻頃、「星の観察会」を開会しました



いろんな天体を観察  
できて、子どもたちも  
喜んだけど・・・  
一番喜んだのはお母  
さん達だったかも

主催者側が、「踏台」  
を用意して下さったの  
で、小さな子どもでも  
楽な姿勢で望遠鏡の  
接眼部を覗くことがで  
きました

### 体験したあと「星の観察会」を主催

今回、「星の観察会」を企画して下さったのは、昨年の上海日食ツアーを主催した旅行社にお勤めの岩山さんです。雨に降られ真っ暗闇になった「皆既日食」の異様さを体験してから、天体観察の面白さに気づいたのでしょうか。8月には、熊本市内で開催した「星の観察会」を下見され、その運営の内容を確かめられました。その後、御船町木倉小学校の学童保育に関わる保護者の会「あけぼのクラブ」に「星の観察会をしませんか?」と提案して下さったのです。

保護者の会では、すぐに「面白そうだ、やってみよう!」とゴーサインがでました。熊本県環境センターの「環境教育指導者派遣制度」を活用していただいての実施です。

### 雨・雨・雨…の予報なのに、夕方から少しずつ青空が見え始めて

17時に、天文台で機材を積み込むとき、思い切ってC-11と12cm屈折を両方とも持っていくことにしました。もちろんスクリーンとプロジェクターも積みました。でも、雨が降ることを考えて、町民グラウンドでの開催を諦め、木倉小学校の校庭と教室で実施するよう変更してもらい、応援に駆けつけて下さった杉村さんと一緒に、天文台を出発しました。

車を走らせている間にも、ドンドン青空が広がっていきます。「なんだかすごい天気の変化だなあ・・・、もしかしたら・・・」そう思いつつ、木倉小のグラウンドに到着したとき、私の携帯に電話がかかってきました。「やはり、会場を町民グラウンドにします」

### キャンセルした会場を、もう一度、借り直して

大急ぎで町民グラウンドへ移動し、望遠鏡の組立作業を開始。電源が使えるというのでプロジェクターやスクリーンも設置しました。スクリーンの前には、主催者側で準備して下さった大きなビニールシートも広げて、解説会場も完成です。

準備が終わって、すぐに望遠鏡を金星に向け、集まった人から順に観望を始めました。金星の地平高度が低いですし、グラウンドの周囲には樹木があるので、いつ見えなくなるか分からないうからです。19時頃には、参加者がそろい、正式に開会を宣言、星の観察と解説を始めました。

望遠鏡で観察したのは、金星・アーカトゥルス・アンタレス・ベガ・木星・アルビレオ・WWスター・アンドロメダ大星雲など。電子紙芝居で、ハートレー彗星の解説・アンドロメダの物語。最後に、天文台の案内チラシと、ハートレー彗星の写真をプレゼントしました。

10/16(土)、13:00~15:30

## JAXAタウンミーティング

熊本大学工学部百周年記念館にて開催されます

10/31(日)、10:00~15:00

## 火の君まつり

県民天文台は、年に1度の、昼間の一般公開を行います!

先着100名に、記念の天体写真をプレゼント!

11/5(金)・6(土)・7(日)

火の君総合文化センターと天文台で

## 火の君文化祭

文化センターでは、天体写真の展示（ホールのホワイエにて）

6日、土曜日12:30~13:30 「星空と宇宙の電子紙芝居」上演（2F視聴覚室）

夜は、天文台で、一般公開「星空体験講座」です

11/13(土)

豊田校区青少年健全育成協議会主催

## 秋の星空を見る会

豊田小学校の小学生を中心に、地域の子どもや保護者たちに星空を楽しんでいただきます

熊本市との合併により地域の組織や運営が変わり始めました

11/27(月)

17:00~18:30 熊本県生涯学習センター主催

## 秋から冬へ、季節の星空と木星の観察

県民カレッジ「科学技術コース」 後期第4回：現地学習

県民天文台で、生の星空を体験していただこうという企画です！

# ☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

中秋の名月の団体観望会も無事に済み、花盛りだった彼岸花もそろそろ終わり、本格的な秋に突入です。夜は結構肌寒くなって、原付用上着（ウィンドブレーカー）が必要になってきました。天文台の蚊は、まだまだ健在で、虫よけスプレーは手放せませんが。

さて、西空の金星はいよいよ低く、観望はそろそろ難しくなってきました。一方、木星は、観望シーズン。一晩中夜空の中で目立って輝いています。

秋の星座がすっかり主役に収まっている中、103P ハートレイ彗星が話題になっていますね。これもまた観望の好機なのですが、残念ながら淡くって、私のボロボロな肉眼+双眼鏡ではさっぱり見えません。何枚も重ね合わせて姿を見せてくれる画像もいいのですが… ああ、百武が… ヘールボップが… ホームズが… なつかしい…



## 秋の神話

王妃は 考えていた  
ずっと  
このまま  
座り続けているのかしら と

傍らの娘は  
鎖に繋がれたまま  
ひたすらペガスに乗った英雄を待ち続けている  
頼りの夫は  
そっぽを向いたまま  
怪物は  
まだ頭を見せてもらえないが

ああ

本当はそんなことどうでもよくって

耐えられないのは  
このまま ずっと ずっと  
いつまでも  
ただ 無為に座っていなければならぬことだ

(自分の座る姿が 北極星を探す目当てとして  
役立っていることなど 彼女は知らない)

椅子の上で悶々とする 王妃の傍らを  
ひとつの彗星が  
すり抜けていく



By Dio

# 2010年9月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 11日／12日 = 91.7%  
一般来台者数 126名

総開台日数 15日  
会員来台数 37名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
3日 (金)	快晴	西嶋 小林J	6人	金星,M7,M22,M8,M17,M31,木星 夕立の後の快晴でまだ明るさが残るうちから星がよく見え、天の川を楽しんで頂けました。熱心なリピーターさんがデジイチでの撮影。ファミリーの方は小型望遠鏡を持ってこられ、使い方を教えて欲しいとのことでした。
4日 (土)	雨のち 晴れ時々曇り	中島 西嶋 高田	4人 高田家	M7,M8,木星など 元気な子ども二人!! 大変賑やかでした。
5日 (日)	くもり	艶島 小林M 艶島	2人 1人	ベガ、M57、木星が雲間からやっと見えた。新しいプロジェクターを導入しました。 合志市での防犯灯導入についての打ち合わせ 光軸合わせ
10日 (金)	晴れ 曇り	西嶋 高田	0人	雲は多かったけど金星、アークトゥルス、夏の大三角形はきれいに見えていたので開けました。残念ながらお客様0。金星はかなり欠けていましたが、沈むのが早いです。
11日 (土)	晴れ	中島 艶島 小林J 西嶋 高田 藤永 山下他 熊大 天文部（計 5人）	8人	木星、金星、月、M31、アンドロメダ、ベガ 木星は最高でした。  トークアバウト 星屑発送 熊大より現状報告など 熊大生が写真撮影にチャレンジ!!
12日 (日)	くもり	艶島	2人	雲が非理がったり雨が降ったり晴れ間が通ったり変なお天気です。19時頃には月や金星がきれいに見えていましたが、今は雲ばかり。帰ろうと思ったら晴れ間がある。戻ってマンガを読んでいたらお客様。若いカップルで22:00まで楽しんで行かれました。

日付	天気	担当運営	来台数	記　事
1 4 日 (火)	晴れ	艶島	0人	九州環境サポートセンター主催環境系助成金セミナーに参加。
1 7 日 (金)	曇り・ 晴れ	西嶋 高田	0人	曇りがちでしたが金星と月、木星が見えていました。しかし、シーイングが悪く倍率を上げる気になれないユラユラさかげん。木星の近くに天王星が見えています。明日が最接近。
1 8 日 (土)	晴れ	中島 西嶋  中島 西嶋	25人	月、木星　とにかく次々に来台者がつめかけ大盛況。若い人も多く質問が次々と出て大変でした。月と木星の撮影会。 月の動画　木星の撮影 木星、月、木星と天王星
1 9 日 (日)	晴れの ち曇り	艶島　中尾 小林 M 西嶋	28人	金星,月,火星,木星,ベガ　19時過ぎにお客さんが来ておられました。すぐに屋根を開けて金星を観望。三日月状になりましたね!そろそろ最大光輝です。
2 0 日 (月)	晴れ	艶島	0人	金星、月、木星の撮影
2 2 日 (水)	曇り／ 晴れ／ 雨	艶島 中島 西嶋	20人	フィールドミュージアム「中秋の名月を見よう写そう」月、木星　見て写して大好評でした。 デジカメ撮影法、月の解説 KABの取材
2 4 日 (金)	晴れ	高田	2人	月、木星、M13 9時過ぎにお客さん2人。 高森の山本さんのお知り合い?? 低い空の月を見ていると、さかんにコウモリが飛んでいるのが見えました。
2 5 日 (土)	曇り／ 晴れ	中島	8人	月、木星 賑やかな2家族でした。月のケータイ撮影会となりました。
3 0 日 (木)	雨のち 曇り 晴れの ち曇り	艶島  小林 J	0人	ハートレイ第2彗星(103P)彗星を撮影 21h頃、一気に霧が出たのか?何も見えなくなりました。

暑さ寒さも彼岸までとは言うものの、本当に今年の夏は最後の最後まで暑かったです。更に、いきなり秋の気候になって、体調管理が大変です。幸い風邪をひいたりしませんでした。ナンとかはナニなもので…。さて、この号が届く頃にはハートレー彗星が既に見頃になっています。東の空に輝く木星と、ハートレー彗星を見に来ませんか？週末金土日の19時～21時が受け付けです。ハートレイ彗星狙いなら、受け付け終了の21時少し前が狙い目かも。夜は意外と冷えるので、防寒対策もお忘れ無く。(^^;)

※ 10月31日（日） 火の君祭り 10:00～ 天文台にて太陽観察予定

### ☆ 11月の天文現象＆行事☆

- 5日（土） 火の君文化祭（～7日（日）まで） 記事参照
- 6日（土） おうし座南流星群が極大のころ 新月（13:52）
- 7日（日） 立冬（りっとう…冬の始まりで、これより次第に冷気深くなる）
- 13日（土） おうし座北流星群が極大のころ  
トークアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）  
城南町 豊田校区「秋の夜空を見る会」
- 14日（日） 上弦（01:39）
- 16日（火） うお座κ星の食 4.9等(16:54→18:15 福岡：暗縁から潜入)  
およそ17分後に、うお座9番星(6.4等)の食も見られる
- 18日（木） しし座流星群が極大（17日の夜から18日にかけて）
- 20日（土）～21日（日） 天文教育普及研究会 九州支部集会 佐世保市にて
- 22日（月） 満月（02:27）  
小雪（しょうせつ…寒氣のり、雨凍って雪となるという意味）
- 23日（火） 海王星が東矩（08:33 7.9等、視直径02.2"）
- 24日（水） ふたご座μ星の食
- 29日（月） 下弦（05:36） 県民カレッジ 現地講座「秋から冬の星空」

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2010年11月号 通巻428号  
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226  
熊本県熊本市城南町塚原2016番地 熊本県民天文台  
TEL 0964-28-6060  
振替口座 01700-5-105697  
NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp  
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで